

V2X とは… ～車の新たな使い方～

この大容量蓄電池（バッテリー）をもつ電動車に蓄えた電気は、温室効果ガスを出さずに車を走らせることはもちろん、蓄えた電気を建物に送ったり（V2H（住宅）：Vehicle to Home、V2B（ビル）：Vehicle to Building）、電気を取り出して使うこと（V2L（電化製品等）：Vehicle to Load）などができます。

これらを総称してV2X（ブイツーエックス）といいます：V（車：Vehicle）2（から：to）X（何か：Everything）
電動車が蓄電池の代わりとなってさまざまな使い方があります。

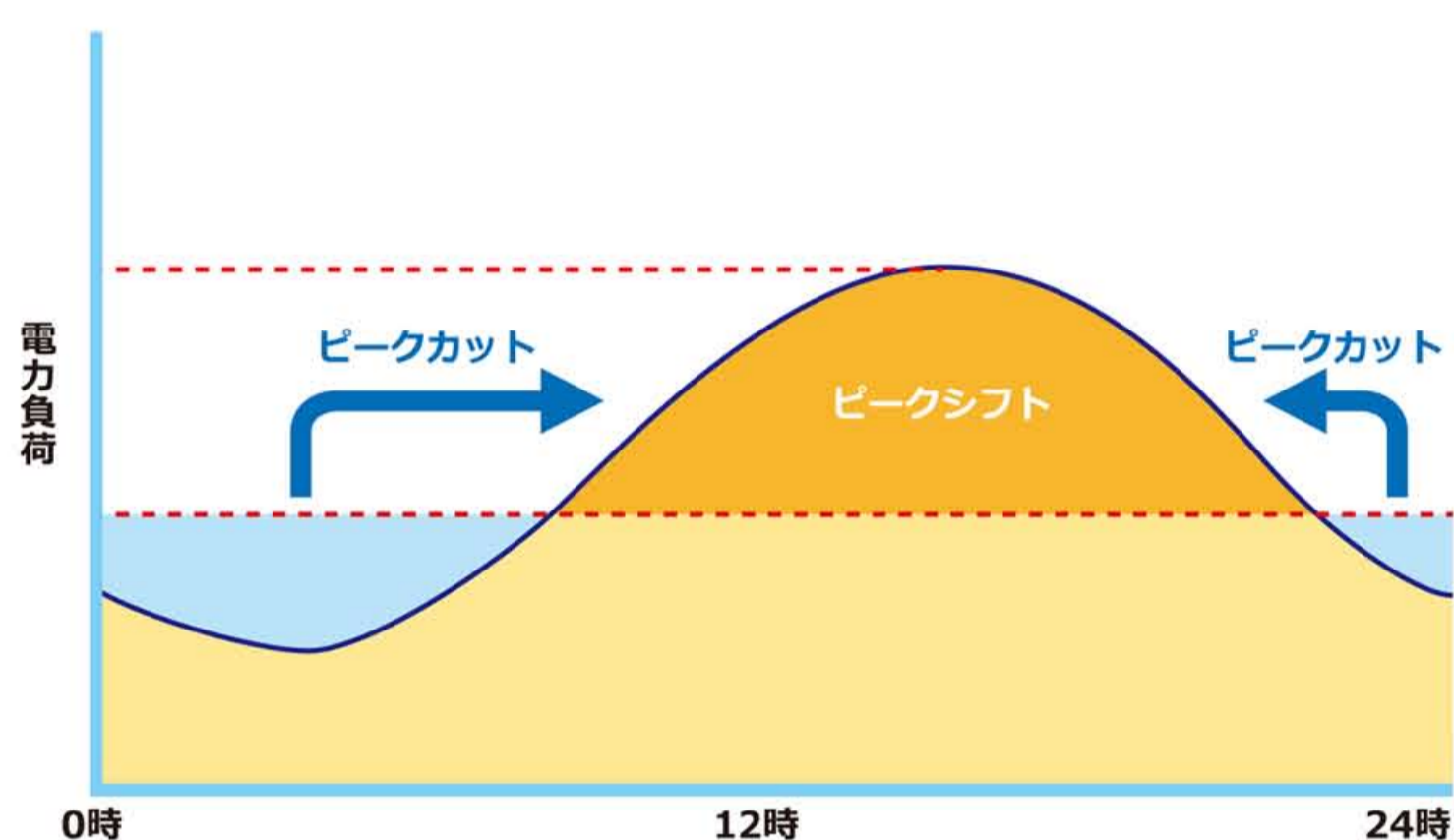
みなさんも家に電気を送ったり、屋外で電化製品を使ったりと、楽しい使い方をしてみませんか？

V2X（車、充電設備・機器）でできること

① [V2H/V2B] 住宅・事務所などへの給電利用

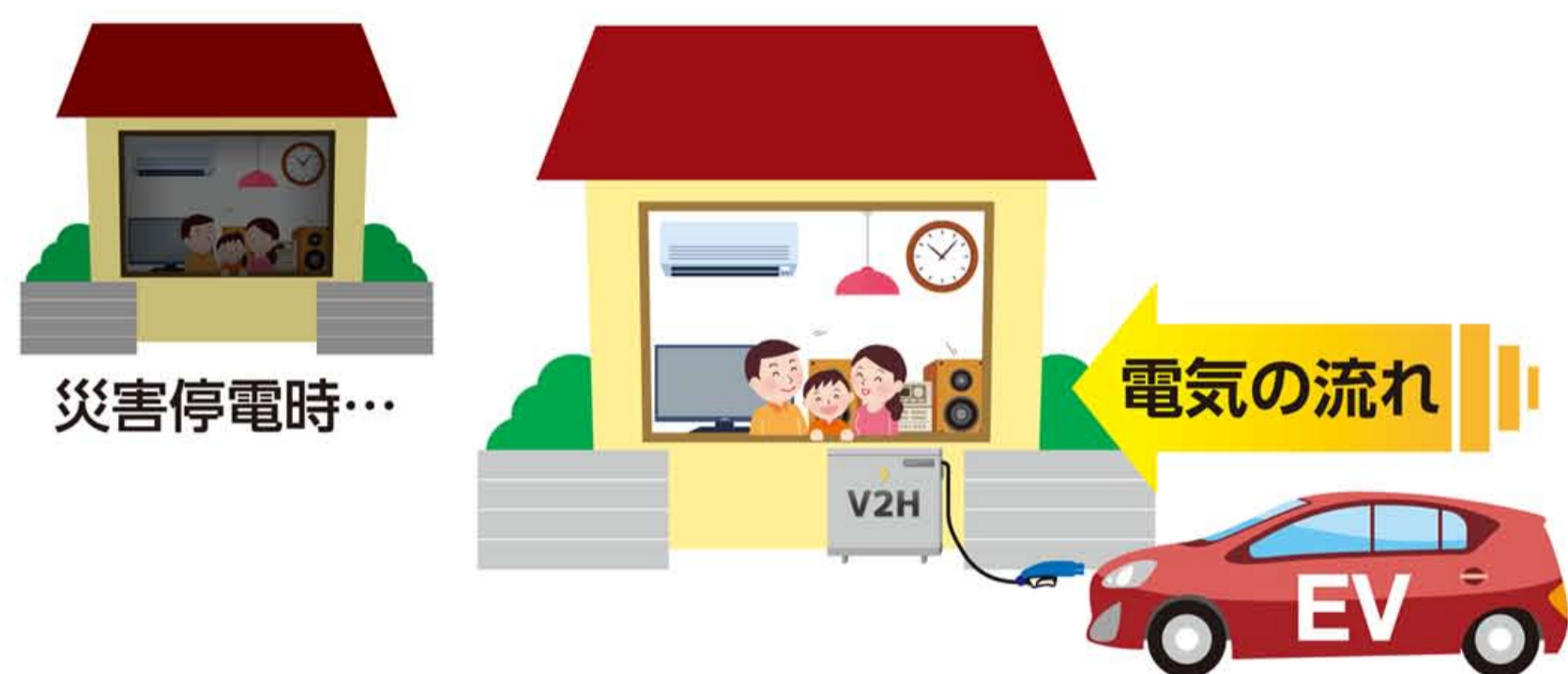
通常時には、ピークカットやピークシフトなど自宅での電力の調整ができます。

例) 安価な夜間電力を充電し、昼間に使うなど



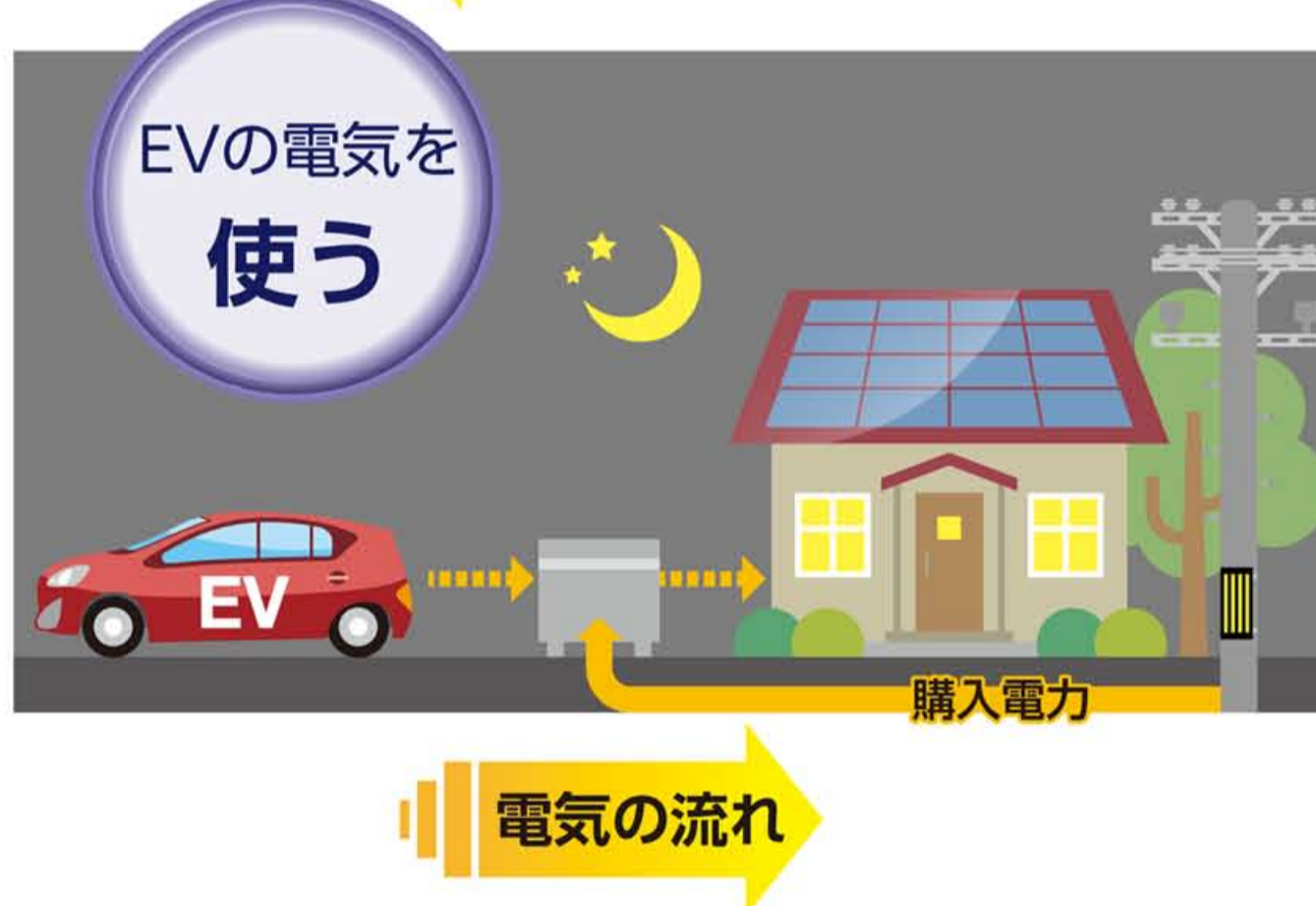
災害時には、車（EVやPHV、FCV）に蓄えた電気を充電設備を介して利用することで、家庭の非常用電源として使用することができます。

例) テレビ、エアコン、冷蔵庫など



さらに、太陽光発電設備を設置し、組み合わせて利用することで、家庭での電力消費が少ない場合は、太陽光発電の電気を車（EVやPHV）へ貯めることができます。

また、電力消費が多くなったときは車（EVやPHV、FCV）から蓄えた電気を家庭へ放電することができるため、電気代やガソリン代を抑えることができます。



◆大阪市の取組み

大阪市ではV2Xモデルシステムを生野区役所に構築しており、このシステムを活用して、家庭や事務所ビルなどへのV2Xの普及に取り組んでいます。



② [V2L] 電気製品などへの給電利用

災害時には、非常用電源（蓄電池）として避難所等で使用することができます。また、災害時だけでなく、行楽時などのさまざまな場面で活用することもできます。

災害時（避難所など）



外部給電装置



※不要の車両もあります

電気の流れ



レジャー時（キャンプなど）



◆大阪市の取組み

大阪市ではイベント時などで給電デモを実施し、V2Xの普及啓発を行っています。



※車種によってはできない車もあります